

平成 27 年 (2015 年)

- 12/22 [平成 27 年「つつきはっけん講座&ウォーク」の実施報告書](#)を作成。
- 12/20 平成 28 年 2 月 12 日 (金) 10～12 時 社会福祉センター
『フリートキング：つつきはっけんを語ろう』を行います。
質疑、新たにはっけんした魅力、今後のこと、その他何でも話し合しましょう。
申込み不要、無料
- 12/12 『～日本遺産・京都府景観資産 登録～ 飯岡丘陵地 』
本年最後のイベント、快晴、飯岡の受講生と阿弥陀寺住職ご夫妻のご協力で皆さんに
大変良かったとの声をいただきました。
- 12/8 facebook やましろ八十八選 第六回 人気順位で 1 位となりました。
- 12/7 本年度最後のつつきはっけんは、12/12 (土) 『日本遺産・府景観資産登録 飯岡』
いのおかは、いいおかです。知られざる魅力に迫ります。
- [12/5](#) ちーたび「タイムワープ京田辺」大成功でした。
- 12/1 本年最後のつつきはっけん『京都府景観資産登録：飯岡』は、12/12 (土) 開催です。

12/5 (土) の『ちーたび』は、家康逃走路を巡ります。
天気予報は、曇りですが、前日から気温が下がるとのことです、少し心配です。
申込みは定員をオーバーしていますが、寒くなるということで、コース等の変更を臨機応変に
対応したく思います。
- 11/14 「文化伝統の薫り～松井・大住地域の散策」
11/13 (金) 集合 10 時 JR 大住駅、解散 12 時半 JR 松井山手駅、6 km。
散歩コースの方々のアドバイスもあり、いつものように和気あいあいのウォーキングでした。
- 11/9 つつきはっけん受講生の I さんのグループ『フラ・ハーモニー朱音』が、
[市民ふれあいロビーコンサート](#)に出演されました。
歌ったり踊ったりされる姿に新たな青春の思い出がよみがえります。
最後に、みんなで歌った『遠い世界に』～これが日本だ、私の国だ～、大変感動しました。
- 10/27 [京都新聞](#)に「タイムワープきょうたなべ」家康京田辺越えイベントが紹介されました。
トップ記事で掲載されています。
- 10/9 [第四回つつきはっけん](#)参加者 (講座 43 名、35/8 ウォーク 30 名、25/5)
法雲寺の十一面観音立像の説明は、檀家総代の I 氏。実に、丁寧に興味深いお話をしていただき
ました。集合写真を本堂前で撮りました。
- 10/6 『講座ウォーク』メニューに[関連情報](#)を設けました。
講座・散策コースの企画、現地下調べ、準備、関係者への調整、苦勞話し、新たな発見など、
講義では伝えきれない情報を盛り込みました。
- 9/30 10/9 第四回つつきはっけんの申込者は、43 名です。
やましろ 100 ちーたび [『本能寺の変、家康逃走京田辺の再現』](#)の申込受付中です。(現在、7 名)
- 9/15 10/9 第四回つつきはっけんは、南山城三十三所めぐりで、法雲寺の十一面観音立像を観ます。
白洲正子さんの『十一面観音巡礼』にも登場。檀家の人たちの手で守られてきた観音様です。

- 8/25 『山城100ちーたび』に応募します。
メニューに、『[ちーたび](#)』を設けました。
- 8/16 第4回講座とウォークは、南山城三十三所めぐり～京田辺の観音さまはいかがですか～をテーマにほとんど語られていない知られざる魅力と価値を探しに行きます。
京田辺の地域活性化のためにも、ご参加をお待ちしています。
- 8/7 第3回講座（参加者は、23名）。質疑応答で、大変、盛り上がりました。
- 7/26 第3回講座の内容を掲載しました。
[『いにしえ伝統文化の薫り 松井・大住地域』](#)です。
あらためてこの地域のことを調べてみると、益々魅力あることがわかってきました。
地元の人々の言い伝えを聞いて、まとめてお話していかねばなりません。
- 7/10 特別講座を開催。初めて外部講師（山城郷土資料館 松尾史子主査）を招いて、『古代・中世の遺跡～道と文化の交わる場所～』と題して、
発掘遺跡・土器からわかることをわかりやすく説明いただく。参加者数:43名（一般37名）
特に京田辺の遺跡は詳しく土器については年代ごとの実物を手に解説いただきよく理解できた。
京田辺は、交通の要所、人々が集まり、文化の集まる場所だったといえる。
そのなごりとして、京阪バスの南限、奈良交通の北限、南都銀行の北限、方言が交わる。
詳細は、[こちら](#)をご覧ください。
- 7/3 7/10、特別講座の参加申込み者数は、55名（一般47名、市民ねっと 8名）
- 6/13 第2回の参加者は、42名（一般34名、市民ねっと 8名）
昼からのウォークは、22名。33度の予想で、少なくなりましたが、曇り、風もあり、
まずまずのコンディションでした。10km。
詳細は、[こちら](#)をご覧ください。
- 6/7 第2回の参加申込者が、50名となりました。（一般 42名、市民ねっと 8名）
7月10日に、特別講座を行います。
テーマは、「古代・中世の京田辺の遺跡」 講師は、山城郷土資料館 職員です。
- 5/26 京都新聞 山城版 まちかど欄に第2回の案内が掲載されました。
- 5/15 広報誌京たなべ 5月15日号に 第2回の案内と募集内容が掲載されました。
『本能寺の変 真実と謎 家康梅雪の逃走』
- 5/9 7/10 つつきはっけん 番外編 外部講師編の講座を調整中です。
『古代～中世の京田辺』 講師 山城郷土資料館 職員
- 4/13 [第2回『本能寺の変 真実と謎 家康梅雪の逃走』のポスターを制作。](#)
- 4/7 [第1回 講座「京たなべの魅力・謎」、ウォーク「神矢樋門、ミツマンボ」を開催。](#)
40名の参加。朝からの雨と寒さで、出席予定者が10数名欠席。昼から雨は上がり、冷たい風が吹く
中、予定通りの箇所を回りました。神矢樋門とミツマンボについては、実際の担当のY氏、受講者のYさんが非常によくわかる内容で説明されました。
詳細は、[こちら](#)をご覧ください。
- 4/4 『本能寺の変 431年目の真実』ベストセラー作家の明智憲三郎氏とお会いしました。
- 4/1 第2回の開催は、6/13（土）10時 社会福祉センターと決定。
- 3/26 第1回（4/7）の講座とウォークのご案内が京都新聞に掲載されました。
申込者は、53名。
- 3/19 第1回（4/7）の申込者数が、48名となりました。

- 3/3 平成 27 年『つつきはっけん』の取組みについて、京都新聞社の取材インタビューを受けました。
- 3/1 平成 27 年取組みの注目・着眼点は、
参加者による主体的な新たな発見と発信です。
自らが知る、或いは新たに知った京田辺の魅力情報を共有化して市の財産にしていきましょう。
- 2/26 平成 27 年「つつきはっけん講座&ウォーク」が京田辺市の後援承認されました。
(京秘第 737 号、平成 27 年 2 月 26 日)
- 2/20 第 1 回ウォーキングは、防賀川・馬坂川の桜並木、木津川の神矢樋門、大徳寺、
興戸のミツマンボです。(約 5 km)
神矢樋門は、専門家による、建物、施設を説明頂きます。
日頃は見る事ができないところです。
ミツマンボは、聴かれたことがないエピソードをご紹介します。ご期待ください。
- 2/17 平成 27 年度、[参加者募集のポスター・チラシ](#)が出来上がりました。
- 2/10 平成 27 年度の推進体制が決まりました。受講者と市民ねっと合同体制で行います。
- 2/2 平成 27 年 第 1 回『つつきはっけん』講座は、4/7 (火) 10 時 社会福祉センター
で始めます。
参加申込み受付中。 080-3134-8662 dontuki@ric.hi-ho.ne.jp 伊藤まで
- 1/21 [京田辺『松井横穴群』発掘調査](#)で 70 基の発見。関西最大級の横穴集団墓地になるとのこと。
- 1/10 [平成 27 年実施計画](#) (案) を策定。
『知る、学ぶ』から『調べ、研究、発見、共有化』へ、より市民参画型を意識する。